

第1回花園町通り ウィズコロナ対策商店街活性化イベント

花園みんなで創るプロジェクト

第1回まつやま花園日曜市

(開催予定10月25日 期間限定)



令和2年8月1日 松山市花園町通り

花園まちづくりプロジェクト協議会
(花園町東通り商店街 花園町西通り商店街)

○企画の概要

ウィズコロナ対策を徹底し商店街の活性化を図る

「花園みんなで創るプロジェクト・まつやま花園日曜市」



「賑わいの創出構想」で地方創生を!

コロナ禍の状況により、商店街店舗の事業存続が危機的な状況を超えて壊滅的な状況の中、ウィズコロナ感染対策と経済との共存のための取り組みとして、商店街の事業継続及び販売促進につながるイベントを実施することで、コロナ禍で危機的な状況から、花園町通りにどこにもない新しい街をつくるという機運を醸成し、**商店街の機能強化と連携推進へつなげたい**。そして、ウィズコロナ感染予防対策を徹底したイベントを実施することで商店街の活性化・持続可能な活動としたいと考えています。

花園町通りのリニューアルから約3年、**歩いて暮らせるまち、安心して暮らすことができるまち**、魅力的なエリアとなり、市民生活に根付いた文化につながる事業として、商店街活性化の為、地域密着で地元店舗と連携した**「花園みんなで創るプロジェクト・まつやま花園日曜市」**を開催し、将来的に城山公園から花園、市駅前、中央商店街へつながる、広域的な中心市街地の活性化事業となるよう推進します。

主催の花園町通り商店街の**店舗を中心に、松山市民、松山圏域市町・出店者の協働**により、花園町通りを**情報発信の場**として活用し、**花園店舗と連携した産直・物産企画、屋台、キッチンカーや、歩道空間活用として花園テラス、パフォーマンス等**の様々な文化の発表・交流することで、ファミリー、異世代交流の場として、みんなで一緒に楽しめる賑わいを創出すると共に、**来街者への心地よいおもてなしの、空間・時間・仲間を提供**することを目的とします。

また、現在、開催イベントの、**お城下マルシェ花園、産直市、花園ブライダル他**。**これらイベントと連携・協働し花園町通りの質の向上**を目指したいと考えています。

○まつやま花園日曜市 (10月～12月第4日曜 期間限定実施予定 コロナ状況により継続)

- ・花園町通りから、地元店舗を中心にイベント参加出店者と連携し、アンテナショップ・情報発信、産直・物産等の企画から、様々な企画を同時開催し家族、異世代交流の場として、一緒に楽しめるイベントとして開催します。
- ・地域資源を最大限に活かして活性化を図り、地域の魅力を高めます。
- ・夢のある、未来につなげる複合型イベントにより、ひとが集まり・回遊するまち新たなまちづくりの宝を磨きます。
(基本企画60%、補助企画40%の構成)
- ・各種アンケートの実施によりニーズを把握し、モニタリング、今後の開催プランのマネジメントに活用します。
(中心市街地活性化社会実験プランの推進)



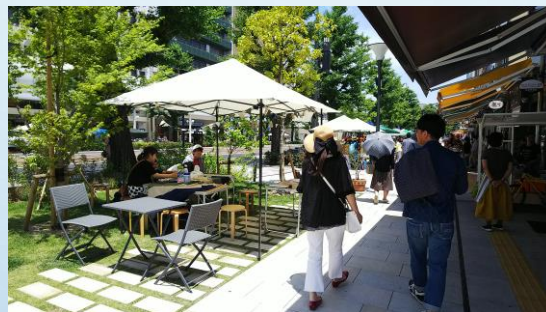
①情報発信・産直・物産企画 松山圏域広域経済連携(基本企画)

- ・花園町通り店舗と松山市・松山圏域3市3町が広域連携し、好立地の花園町通りを**情報発信の場**として、各地域のアンテナショップとして活用、**農家等生産者支援**
 - 花園飲食店舗が中島・久谷・北条等の**地産野菜を食材とした料理の提供・地産地消**
 - 地元漁協と連携した献立メニューの提供、砥部焼のお皿で飲食店舗が料理提供他
- ・**松山市・松山圏域市町の特産品、物産品・産直品等のPRや販売**に活用
 - 地場産業の商品販売促進、事業推進の外部発信 → 花園町通りの**クォリティー向上**
- ・広域連携エリアの出店内容は、**参加店が商品プロモーションなどで活用 (地方創生)**
 - 花園町通りから**最新情報の発信・花園PROJECTWEBサイト開設**
 - 参加店が**花園町通りをWEBサイトにて外部発信効果**



②花園連携(企画1)

- ・花園町通り店舗と日曜市参加店の地元食材を利用したコラボ料理企画
 - 花園飲食店舗が各種日曜市ランチ、まつやま食材ランチ等の提供(地産地消)
 - 花園通り飲食店舗が主体で、花園テラスの推進
 - 歩道空間すべてにテーブルと椅子を設置し、花園シャンゼリゼ通りPLAN
- ・「子規と花園町」生誕の地、子規の庭プロジェクト



③外部連携(企画2)

- ・有名10店舗程度を招聘したパンフェスタを同時開催、若手パン職人の人材育成。
 - 親子パン作り体験イベント(花園丸三協賛・参加型イベント)



④企業連携(企画3) →歩道空間を最大限活用

- ・各種スポーツ団体とのコラボレーション企画、スポーツキッズジュニア普及イベント
- キッズ・ファミリー、テニス、サッカー、バスケット、野球、展示会他
- ・民間の社会貢献活動などの発表の場として活用



【数値目標】

- ・毎月1回の松山花園日曜市事業にて、初年度集客約3,000人を目標
一人単価2,000円×3,000人で6,000,000円程度の効果
- ・2年後の最終目標は約10,000人
- ・企画をベースに財源確保、スポンサー協賛、クラウドファンディング、計画・実施・評価
- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和元年12月20日閣議決定)まちづくりで地方創生を
- ・当初は商店街需要喚起対策事業で開催のため、参加料は無料で実施予定(但し参加者セルフ対応)
商店街で可能な範囲先行投資する。但し、売上実績、協賛金状況等の事業の質の向上に伴い検討し
1年後は、協賛金・参加費、クラウドファンディング等の自主財源で運営できるよう取り組みます。

花園みんなで創るプロジェクト (歩道空間活用)
アップサイクル (好循環のスパイラル) を生む仕組みづくり



花園連携 PLAN1

花園店舗コラボ・日曜市ランチ・地元食材の活用した地産地消
歩道空間活用・花園テラス、子規生誕の地・子規の庭プロジェクト

外部連携 PLAN2

パンフェスタ NskitchenRabo他
パン職人育成plan・親子パン教室

企業・団体・大学連携 PLAN3

SPORTS kidsEvent テニス、スラックライン
車ディーラー展示発表会、外部コンテンツ

松山圏域3市3町広域連携・情報発信

松山市 伊予市 東温市
砥部町 松前町 久万高原町

産直・物産 基本PLAN

アンテナショップ、産直市、花園店舗と連携
商品プロモーション、社会貢献活動

まちづくりを通じて、子供から高齢者まで
健康な生活を営むまちづくりを!

「賑わいの創出構想」で地方創生を!



まつやま花園日曜市 MAP

花園連携 PLAN1

地元店舗・日曜市ランチ他地産地消・花園テラス
子規生誕の地・子規の庭プロジェクト

外部連携 PLAN2

パンフェスタNskitchen他全国10店舗
地元丸三協賛パン教室

地元店舗

歩道空間・花園テラス席

地元店舗・テラス席

Kids
Event

パン
フェスタ

松山市

移動する建築・屋台

東温市

伊予市

歩道空間を活用し、11エリアで開催予定

大学・企業
コラボ

久万高原町

松前町

子規プロ
ジェクト

砥部町

複合イベントにより滞留するまちへ

ホテル・地元店舗

大学・専門学校

産直・物産 広域連携 基本PLAN
アンテナショップ、産直市・花園店舗コラボ
商品プロモーション、社会貢献活動

企業・団体・大学連携 PLAN3
SPORTS kidsEvent テニス、スラックライン
車展示、外部コンテンツ

松山市駅

【事業効果】

＜まちなかの賑わい創出＞

広く松山圏域から出店を募ることで、まちなかにおいて今までにないコンテンツを提供できるとともに、**松山圏域からの花園町通りへ交流人口増**が見込まれます。

これにより、**日曜日昼間の時間帯の賑わい創出**（回遊活動・経済活動）

- ・**ひとが集い、安心して暮らす**ことができる魅力的なまちをつくる、
- ・**多様な人々が訪れ、交流し、活力を生む**まちをつくる、
- ・**地域資源を最大限生かし活性化を図り、地域の魅力**を高め、特色のあるまちづくり

＜松山圏域の情報発信＞

花園町通りWEBサイト開設、SNS、マスコミ、松山圏域広報誌への掲載等の活用により、**花園町通りから外部への情報発信**を行う。つまり、双方向の地域メディアを最大限活用した一般市民への情報発信が見込まれます。



JIAゴールデンキューブ賞優秀賞
移動する建築・屋台



<まちづくりの人材育成・ネットワーク構築>

コロナ禍で、商店街各店舗の事業存続が危機的な状況の中、まちづくりの一環として、弾力的に進め、この事業を推進することにより、

①イベント等を調整する人 ②空間を作る人、表現する人 ③情報を発信する人、
これらの**人材発掘・育成につながる事業**とします。

初期は現状の商店街の資源を生かし可能な範囲で開催するが、
段階的に質を上げるため、**必要な人材を巻き込んだまちづくりの事業**として
ネットワークを構築(ネットワーク型)



<持続可能な活動へと展開>

新型コロナウイルスにより、商店街店舗の事業存続が厳しい中で、商店街の需要喚起策として**事業継続、販売促進につながるイベント**として実施します。花園町通りに、どこにもない**新しい街をつくるという機運を醸成**する効果が期待される。また、**花園町商店街の店舗との連携強化**を行うことで、日曜市参加者が花園町通りへのリピーターとなっていくことをねらいます。

なお、**中長期的には、エリアマネジメント組織を設立**し運営する。これらを通じて持続可能な活動へと展開していくことが期待されます。



<将来的な近隣との連携や他地区への普及へ向けたノウハウ蓄積>

- ・まつやま花園日曜市は**子規の庭の街歩き**から、参加ブースを楽しみ、音楽、スポーツイベント、最新情報が楽しめるような、**滞留型の複合イベント**を目指し、花園町通りの**歩行者空間を最大限活用**したプランを推進します。
- ・まつやま花園日曜市のノウハウ蓄積を通じて、**5年後の市駅前広場整備後のイベント連携**につなげる。ひいては、まちづくりの中長期計画により、この事業が確立し、パッケージ化することで、**他の地域でも開催可能**となるよう、全国モデルケース事業となるよう推進します。





○まつやま花園町通り 受賞関係

平成30年 5月 平成29年全建賞(都市部門)
平成30年10月 2018年度グッドデザイン賞
平成30年10月 2018年アジア都市景観賞
平成31年 1月 ソノバ・アワード2018 プロジェクトデザイン部門賞
平成31年 2月 第11回まつやま景観賞審査員特別賞
令和 元年 6月 第31回全国街路事業コンクール 国土交通大臣賞
令和 2年 1月 2019年度土木学会デザイン賞 最優秀賞
令和 2年 5月 第34回愛媛経済同友会美しいまちづくり賞

○花園みんなで創るプロジェクト (にぎわい創出のため)

まつやま花園日曜市

歩いて暮らせるまち、安心して暮らすことができるまち
多様な人々が訪れ、交流し、活力を生む花園町通り
夢のまちづくり・夢に人はつながり・夢はまちを活性化
商店街・地域 みんなが協力し、みんなで創るProject

第1回花園町通りウィズコロナ対策・商店街活性化イベント

○事業目的

新型コロナウイルスにより、商店街各店舗の事業存続が危機的な状況を超えて壊滅的な状況の中、ウィズコロナ感染予防対策と経済との共存のための取り組みとして、事業継続及び販売促進につながるイベントを実施することで、花園町通りにどこにもない新しい街をつくるという機運を醸成することを目的とする。また、このイベントで商店街の機能強化と連携推進へつなげたい。そして、ウィズコロナ感染予防対策を徹底したイベントを実施することで商店街の活性化・持続可能な活動としたいと考えています。

○ウィズコロナ感染予防対策ガイドラインの徹底

3密防止策の徹底、大声・近接した距離で会話注意、物販は手が触れるサンプルは取り扱わない、パンフレットは手渡ししない、並びで2メートル間隔ソーシャルディスタンス、花園店舗に手指消毒剤アルコール設置、ゴミの密閉対応、フェイスガード、透明シートによる飛沫感染防止、イベント実施時間の分散、歩道入口にサーモモニター設置し来街者の体温チェック、スタッフの体温・体調管理の徹底、事前に市保健所アドバイス、基本的生活様式ピトグラム掲示、その他

(商店街における感染症防止対策に向けた基本的な方針 令和2年6月16日改訂)

イベント等の開催についての留意事項

1. 基本的な考え方について

○新型コロナウイルス感染症対策の基本となる「感染回避行動」を徹底する。

①うつらないよう自己防衛！②うつさないよう周りに配慮！③習慣化しよう3密回避！

○全国的又は広範囲な人の移動が見込まれるものや大規模で参加者の把握が困難なイベント等は引き続き慎重に対応する。

○全国及び地域の感染者の発生状況に留意し、開催を検討する。保健所に相談する場合は、開催を検討する段階で相談する。

(参考) イベントの中止、施設の取扱い等について(7月10日更新)(愛媛県ホームページ)

[HTTPS://WWW.PREF.EHIME.JP/H25500/KANSEN/COVID19.HTML#EVENT](https://www.pref.ehime.jp/h25500/kansen/covid19.html#event)

2. 具体的な感染拡大予防策の策定について

- ・ 事業活動等に必要な対策の基本的な留意点は下記のとおりです。このほか、各業界団体の業種別ガイドラインを参考に、各イベントや会合毎に具体的な感染拡大予防策を策定し遵守してください。保健所では、具体的な感染拡大予防策の策定内容は個別に確認しません。事業者からの相談には各課で内容の確認をお願いします。

- ・ 感染予防やまん延防止の考え方について分からない点があれば御相談ください。

- ・ (参考) 業種別感染拡大予防ガイドライン等について(愛媛県ホームページ)

[HTTPS://WWW.PREF.EHIME.JP/H30100/SANGYO/DOCUMENTS/GUIDELINE20200703.PDF](https://www.pref.ehime.jp/h30100/sangyo/documents/guideline20200703.pdf)

(1) 基本的留意事項

- 人との接触を避け、対人距離を確保(できるだけ2Mを目安に)する。
- 感染防止のための入場者の整理(密にならないように対応。発熱またはその他の感冒様症状を呈している者の入場制限を含む。)を行う。
- 入口及び施設内の手指の消毒設備を設置する。
- マスクを着用する(従業員及び入場者に対する周知)。
- 施設の換気(2つの窓を同時に開けるなど)を行う。
- 施設の消毒を行う。

(2) 症状のある方の入場制限

- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける。
- 状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限する。
- 業種によっては、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、入場者等の名簿を適正に管理する。

(3) 感染対策の例

- ・ 他人と共用する物品や手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にする。
- ・ 複数の人の手が触れる場所を適宜消毒する。
- ・ 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を図る。
- ・ 人と人が対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。
- ・ ユニフォームや衣服はこまめに洗濯する。
- ・ 手洗いや手指消毒の徹底を図る。
- ・ 体に触れる場合は、手洗いをよりこまめにするなどにより接触感染対策を行う
（手袋は医療機関でなければ特に必要はなく、こまめな手洗いを主とする。）。

(4) トイレ（※感染リスクが比較的高いと考えるため留意する。）

- ・ 便器内は、通常の清掃で良い。
- ・ 不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を行う。
- ・ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・ ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備する。
- ・ ハンドドライヤーは止め、共通のタオルは禁止する。

(5)休憩スペース(※感染リスクが比較的高いと考えられるため留意する。)

- 一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする。
- 休憩スペースは、常時換気することに努める。
- 共有する物品(テーブル、椅子等)は、定期的に消毒する。
- 従業員が使用する際は、入退室の前後に手洗いをする。

(6)ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。
- ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。

(7)清掃・消毒

- 市販されている界面活性剤含有の洗剤や漂白剤を用いて清掃する。
- 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を、始業前、始業後に清拭消毒する。
- 手が触れることがない床や壁は、通常の清掃で良い。

3. 陽性患者発生時の対応について

感染が発生した場合には、参加者に確実な連絡が取れる体制と行政機関による調査に協力する。

クラスターの発生が危惧され、不特定多数が参加している時は公表する場合があります。

4. 接触者アプリの積極的な活用について

○新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の登録を啓発する。

「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」とは、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるもの

○えひめコロナお知らせネットを積極的に活用する。

「えひめコロナお知らせネット」とは、予めイベント主催者や施設・店舗等がダウンロードし、掲示するQRコードを、参加者や利用者等が読み込むことで、当該イベント等で感染者が発生した場合に、参加者等に濃厚接触者となる可能性があることを通知するもの

- ・ (参考) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA) (厚生労働省ホームページ)
- ・ [HTTPS://WWW.MHLW.GO.JP/STF/SEISAKUNITSUITE/BUNYA/COCOA_00138.HTML](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)
- ・ えひめコロナお知らせネットについて(愛媛県ホームページ)
- ・ [HTTPS://WWW.PREF.EHIME.JP/H25500/LINENET.HTML](https://www.pref.ehime.jp/h25500/linenet.html)